

第一回 学校運営協議会会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 2023年5月15日(月) 13時30分から15時30分まで
- 2 会議場所 芳川小学校 CSルーム
- 3 出席委員 佐藤祐輔、間宮年弘、鈴木幸彦、犬居和賀代、林容子、鈴木麻里
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 古橋一哲(南陽協働センター)
- 6 学校 澤田正樹(校長)、大石智香子(教頭)、榛葉崇文(CS担当職員)、内田由佳(CSディレクター)
- 7 傍聴者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 内田由佳
- 9 議長の選出

司会の大石から、議長の選出については、前回の協議に於いて、鈴木麻里委員を全員異議無く選任及び承認した旨の確認をした。

10 協議事項

- (1) 学校運営方針について
- (2) いじめ防止等の基本方針について
- (3) 夢育やらまいか事業に関する意見書について
- (4) 「学校探検」(学校案内)

11 会議記録

司会の大石から、委員総数6人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 芳川小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、プレゼン等に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等の基本方針について

校長から、資料に基づきプレゼンテーション説明があり、委員からは以下のような発言があった。

① 実態について

- ・被害は隠れているかもしれない(校長)

② 方針について

- ・防止対策推進法に基づく(校長)
- ・目的→ 児童等の尊厳、人権を守るためという項目は見逃しがちである(校長)

③ 定義

- ・いじめが発覚するのはどのようなケースか(佐藤会長)
→ あらゆるパターンがある(校長)

- 認識した時点で、すぐに対処する（校長）
- ・海外だと教員の仕事ではない。業務量過多ではないか（間宮委員）
 - いっぱいである。市外では専門チームが派遣されるところもある（校長）
- ・社会に出てからの練習でもあるのでは。教員に負担がありすぎるのでは。専門チームが派遣されるとよい（佐藤会長）
 - ・本校では、粗暴な行為や、言葉遣いがきついなどの場合、居合わせたボランティアが声をかけるなどして、寄り添える存在になっている（麻里委員）
 - ・大人が入っていると、抑止になっているかもしれない（犬居委員）（幸彦委員）
 - ・教員でない大人だと子ども達の自然な姿が見える（幸彦委員）
 - ・子どもたちの人間関係を自然に当事者以外の子が話せる関係があるとよい（佐藤会長）
- 子供同士で解決が理想（校長）
 - ・ピアサポートという考え方がある。と共に、ソーシャルスキルを育てる（=うまいコミュニケーションができること）これはいじめ防止につながるが、時間がかかるのが課題である。（間宮委員）
 - 普段の授業を通して教師がそのスキルをつけさせることは可能である（校長）
- ・その考えはとても大事だと思う（林委員）
- ・ピアサポートはうまくいくか否かで難しい側面がある（佐藤会長）
- ・現在、中1からピアサポートを教育している。以前は中3からだった（麻里委員）
- ・他校ではピアサポート係を創設している。（間宮委員）
- ・実践研究している学校がある（林委員）
- ・難しいが取り組むことは大事である。学校側のスタンスが伝わる（麻里委員）
- ・ボランティアの存在は大きい（林委員）

（３） 夢育やらまいか事業について

資料に基づき、教頭から説明があり、全員が異議なく承認した。

（４） ほうがわクスノキ応援団活動報告

資料に基づき、現状について学校支援コーディネーターの鈴木麻里委員から説明があった。

- ・1年生ツアーは続けてほしい（佐藤会長）
- ・外国籍の保護者たちも応援団に勧誘してはどうか（林委員）
 - お知らせを外国語で出してはいいかがか（佐藤会長）
- ・本校はPTAに外国籍の方は入らなくてよいとなっているが、入ってもよいのではないか。（麻里委員）
- ・図書ボランティアは今年度から「ほうがわクスノキ応援団」に統合することと

なった（麻里委員）

→ 林委員は図書の専門であるので、力になっていただけたらどうか

（間宮委員、犬居委員）

→ できることがあれば、協力したい（林委員）

・朝、図書室にボランティアがいることはよいことだ（間宮委員）

・大人向けの読み聞かせはどうか（犬居委員）

→ できることがあれば、協力したい（林委員）

・カーテンや掲示が整っているのはよい（林委員）

・掲示が素敵。ワクワクした（犬居委員）

・ボランティア側も子どもたち側もお互いハッピーになることも目的としている
（麻里委員）

その他、意見等

・WBCのように同じ目標があるとチーム力が上がり、個人の力も上がる。授業の在り方にそれを導入したクラスを見たことがあるが、1年後素晴らしく変容した
（間宮委員）

・ミニバスのチームを全国大会に導いた経験がある。1日目に主力選手の負傷者が複数でたが、残りの子どもたちのチーム力が強く、勝利した。皆で同じ目標を強く意識させて、チーム力を鍛えることは大きい効果がある。学級運営でも効果があるのでは（間宮委員）

・子どもたちが本気になったら強い。個人の持てる力を何倍にもできる。野球チームで同様の経験をした（幸彦委員）

・家庭でももっと対話をしてほしいが、難しい世の中になってきている

（幸彦委員）

・ボランティアの紹介依頼が来たがお力になれないことが何度かあった。今後
もよろしく願いしたい（オブザーバー）

報告事項等

司会から、2023年6月27日（火）午後13時30分からCSルームで開催する旨の報告があった。

司会から次回の議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員全員から鈴木麻里委員に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。